

荒廃農地を防ぎ、優良農地維持のため、農地パトロールを実施中！

栗東市農業委員会

ミニ広報9月号



～いちじく・ぶどうの収穫が最盛期を迎えています～



▲村田和美推進委員

推進委員の村田和美さんにお話を伺いました。

村田さんは、まりゆ農園で全13品種のぶどうを栽培され、取材時は、ぶどうの収穫が最盛期で、数多くのぶどうが実っていました。

また、「栗太ぶどう組合」を今年設立し、8名の農業者と協力しながらぶどう栽培に取り組まれています。



▲高瀬世志子推進委員

推進委員の高瀬世志子さんにお話を伺いました。

高瀬さんは、自給自足の暮らしの憧れから、農業に興味を持っておられました。

農業経験はなかったものの、先輩農業者から声を掛けていただいたことをきっかけに、栗東いちじくの生産に携わるようになったとのこと。

今後は、栗東いちじくの魅力をより多くの方に知っていただき、地域の活性化や貢献に繋げていきたいと仰っていました。

農業委員会合同研修会が開催されました



↑ 研修会の様子

令和8年7月29日にフェリエ南草津において、湖南四市合同の研修会が開催されました。今年度は農業委員会が新体制となったことに伴い、新任委員等に向け、農業委員・農地利用最適化推進委員の役割や農業委員会に関連する法令等について、(一社)滋賀県農業会議より説明いただきました。

本市農業委員会からは、新任以外にも農業委員・推進委員の参加があり、計12名の出席がありました。

湖国女性農業・推進委員協議会 総会・研修会

令和8年6月30日にキラリエ草津において、第30回湖国女性農業・推進委員協議会総会および研修会が開催されました。

研修会では、兵庫県宍粟市で営農されている藤木農園の藤木悦子氏を講師に招き、「ひとのかかわりで育まれるわたし。」をテーマに講演されました。

藤木氏は、農作業と子育ての両立に挫折しかけた自身の経験について講演されました。

女性農業者のコミュニティ活動等に参加することにより、悩みを共有できる機会が増え、視点が変わったことで様々な困難を乗り越え、楽しい農業ができるようになったと当時を振り返りながらお話いただきました。



↑ 意見交換の様子 (R8. 8. 21)

令和8年8月21日にキラリエ草津において、第31回湖国女性農業・推進委員協議会総会および研修会が開催されました。

研修会では、「地域を動かす女性委员たち～その挑戦と活躍のリアル～」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

その後、グループに分かれて、「女性委員が切り拓く地域農業の未来」をテーマに、女性委員としての活動への思いや疑問について、各市町の農業委員・推進委員同士で共有されるなど、活発な意見交換が行われました。



↑ 藤木悦子氏による講演の様子 (R8. 6. 30)

～地域おこし協力隊の農作業体験～



令和8年5月1日、栗東市初となる「地域おこし協力隊」が着任されました。今回は、地域連携コーディネーターとして活躍されている牧寛享^{まきひろたか}さんがお米作りに挑戦されているのでお話を伺いました。

Q：地域おこし協力隊とは・・・？

A：都市部から地方に移住し、その土地ならではの課題解決に向け、地域・行政・協力隊が三位一体となって活動を行います。栗東市では、奥金勝の観光に注目し、地域を盛り上げる活動を行っています。

Q：地域おこし協力隊として活動したいと思った理由を教えてください。

A：協力隊になる前から大学スポーツに関わる仕事をしており、学生を連れて地域貢献活動を行ったことが地域に関わる仕事に興味を持ったきっかけです。学生の視野が広がればと思って取り組んだ活動でしたが、地域の方々から「山が喜んでいる」と非常に喜んでいただいたことで、もっと他にも自分にできることをしたいと思うようになり、地域おこし協力隊に応募しました。

Q：田村耕一推進委員にお米作りを教えてもらうことになったきっかけと活動内容について教えてください。

A：田村さんとは、コミセン金勝を訪問した際に偶然お会いし、お話をさせていただいたことがきっかけです。

その中で、農業を取り巻く地域の課題について聞かせていただき、少しでも地域のためになるのであれば自分も力になりたいと思い、米づくりを教えてくださいました。

草刈りから田の溝切り、水管理まで一から教えていただきましたが、想像以上の重労働で、この作業を一人で何ヶ所も管理することを考えると、農家の方々が日々どれだけ大変な作業をされているのかを実感しました。



Q：お米作りを経験して大変だったことは？

A：田んぼでの作業は機械を使うことが多く、特に田植えの機械は想像以上に重く、運ぶだけでもかなりの重労働でした。

奥金勝は棚田のため、一枚一枚の田んぼが分かれており、田んぼの枚数が増えるほど、作業工程も増えていきます。

溝切りでは4枚の田んぼをお手伝いしましたが、慣れない作業ということもあり、終わった頃には体力も気力も疲れ果てました。



実際に自分でやってみたことで、「高齢化」や「担い手不足」という言葉だけでは分からなかった農業の大変さを実感し、少しでも経験できたことが一番大きかったと思います。

Q：今後の目標について教えてください。

A：私がやるべきことは、奥金勝のお米の美味しさをはじめとした地域の魅力を地域外の方に伝え、「一度行ってみたい」「体験してみたい」と思ってもらえるきっかけをつくることだと考えています。

そのため、今後はイベントやマルシェへの出展だけでなく、実際に奥金勝を訪れてもらえるようなツアーや体験企画にも取り組んでいきたいと思っています。

実際に農作業に関わってみると、田んぼはお米を作る場所であるだけでなく、人と人をつなぐコミュニケーションツールにもなると感じています。私自身も、お米作りを通じて地域の方と話す機会が増え、農業のことだけでなく、地域の暮らしや課題についても教えていただけるようになりました。

これからも自分自身がお米作りに関わりながら、農業体験やツアーなどを通じて地域外の方にも奥金勝に足を運んでもらい、地域の方と交流するきっかけをつくっていくような、そんな流れをつくっていくことが地域おこし協力隊としての目標です。

《第25期栗東市農業委員会委員◆第4期栗東市農業委員会農地利用最適化推進委員》
農地法に基づく申請・届出その他関係書類の

現 地 確 認 担 当 一 覧

農地法に基づく申請や届出等の手続き書類の現地の確認や、農地等に関するご相談は、下記の担当が対応します。

(担当期間: 令和8年7月20日～令和11年7月19日)

区 域	担 当 集 落 名	職	担 当	連 絡 先	副担当
金 勝	山入・辻越・中村	農地利用 最適化推進委員	明石 芳夫	090-3266-9849	青木建
	蔵町	農業委員	青木 喜久美	090-8828-5836	三浦
	東坂・井上・観音寺	農地利用 最適化推進委員	三浦 喜彦	090-8657-2944	青木喜
	上向・下向・川南	農業委員	青木 建之	090-7961-0023	明石
	美之郷・浅柄野・雨丸	農業委員	中島 豊勝	077-558-0444	田村
	走井	農業委員	今岡 智恵美	090-4761-6956	中島
	片山・成谷	農地利用 最適化推進委員	田村 耕一	090-2599-5879	今岡
葉 山	伊勢落	農地利用 最適化推進委員	高瀬 世志子	090-5063-1531	武村
	林・今土・小坂	農業委員	武村 秀夫	090-7768-3256	小西
	六地蔵	農業委員	大角 重治	090-5057-2224	小山
	小野・手原・大橋	農業委員	小山 邦一	090-5648-7273	大角
	出庭・中・宅屋・辻	農業委員	小西 隆	090-7353-5969	武村
治 田	下戸山	農地利用 最適化推進委員	村田 和美	070-6500-4879	岡野
	目川・岡	農業委員	岡野 龍雄	090-9995-3930	吉川
	川辺・坊袋	農業委員	吉川 新太郎	077-552-3548	岡野
	安養寺・上鉤	農地利用 最適化推進委員	林 久	077-552-4557	片岡
	小柿・小柿第1・新屋敷・中沢 下鉤甲・下鉤乙・下鉤糠田井	農業委員	片岡 郁雄	077-552-1363	林
大 宝	蜂屋・野尻・苅原	農業委員	後藤 昇	090-8575-6278	中井
	総第1・総北・総南	農地利用 最適化推進委員	中井 栄吾	080-5300-2644	後藤
	市川原・笠川・霊仙寺	農業委員	杉田 健一	080-8940-0589	寺田
	小平井・北中小路・十里	農業委員	寺田 忠良	090-1487-7406	杉田

※ 担当者に連絡が繋がらない場合は、事務局から連絡します。

☆総会日程☆

第3回栗東市農業委員会総会・・令和8年10月9日(金) 午前9時30分～ 場所:市役所庁舎4階 協議会室

第4回栗東市農業委員会総会・・令和8年11月10日(火) 午前9時30分～ 場所:市役所庁舎4階 協議会室

第5回栗東市農業委員会総会・・令和8年12月10日(木) 午後3時00分～ 場所:市役所庁舎2階 第1会議室

第25期栗東市農業委員会 会長: 小山 邦一 副会長: 吉川 新太郎
編 集: 栗東市農業委員会農政・広報部会 農政・広報部会長: 杉田 健一
農政・広報部会員: 杉田 健一 / 武村 秀夫 / 大角 重治 / 今岡 智恵美
発行日: 令和8年9月14日(月) 発 行: 栗東市農業委員会 TEL:077-551-0319 FAX:077-551-0148